

令和7年度 (2025年度) 情報学科・専攻協議会 研究会

鼎談：「情報」を大学入試に導入して見えたこと

2025年7月26日

井上 智生
広島市立大学大学院情報科学研究科

広島市立大学のご紹介

1994年（平成6年）4月開学。ことしで31年目。

国際学部・情報科学部・芸術学部

大学院国際学研究科・情報科学研究科・芸術学研究科・平和学研究科

建学の基本理念

◆科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学

広島市立大学情報科学部 定員210名（4学科構成。一括募集，2年次学科配属）

情報工学科 (60名)

コンピューティング講座／コミュニケーション講座／センシング講座

知能工学科 (60名)

データ科学講座／人間情報学講座／知能情報学講座

システム工学科 (60名)

人間・ロボット共生講座／数理システムデザイン講座／インタフェースデザイン講座

医用情報科学科 (30名)

医用情報科学講座

一般選抜 (2025年度(令和7年度)から)

	大学入学共通テスト					個別学力検査		合計
	国語	数学	理科	情報	外国語(*)	数学	情報	
		①②	物化生から1	情報I		I・II・III・A・B・C	情報I	
前期	-	200	200	200	200	400	-	1200
後期	-	200	-	200	200	-	300	900

I・A, II・B・C

(*) 前期・後期とも：英独仏中韓から1

2024年度からの主な変更点

- ◆ 前期日程：共通テスト + 「情報」, - 「国語」
- ◆ 後期日程：共通テスト + 「情報」, - 「理科」,
個別学力検査 + 「情報 (情報I)」, - 「数学」
- ❖ 旧教育課程履修者には, 「社会と情報, 情報の科学」からの問題を用意.

情報配点率：56%
個別情報1科目必須

一般選抜（2025年度(令和7年度)から）

	大学入学共通テスト					個別学力検査		合計
	国語	数学	理科	情報	外国語(*)	数学	情報	
		①②	物化生から1	情報I		I・II・III・A・B・C	情報I	
前期	-	200	200	200	200	400	-	1200
後期	-	200	-	200	200	-	300	900

I・A, II・B・C

(*) 前期・後期とも：英独仏中韓から1

後期日程の狙い

- ◆ まずはインパクトの小さいところから（募集35名）.
- ◆ 「情報一択必須」&「高配点」の入試を「後期日程」で選んでくる
⇒ 情報が好き / 普段から情報を学んでいる
- ◆ 「ここならば入れる」はかなり減るのではないか.

情報配点率：56%
個別情報1科目必須

令和7年度入学者選抜実施結果

情報科学部

実施状況

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
前期日程	120	310	288	143	2.0	135
後期日程	35	617	226	38	5.9	32

合格者統計値

	大学入学共通テスト				個別学力検査				総合点			
	配点	max	min	ave	配点	max	min	ave	配点	max	min	ave
前期日程	800	578	349	483	400	350	97	225	1200	896	520	707
後期日程	600	526	407	446	300	300	250	282	900	779	629	729

◆後期日程：高い実質倍率。合格ボーダも高得点に。

令和7年度入試：各大学の「情報」出題範囲

	情報社会の問題解決			コミュニケーションと情報デザイン			コンピュータとプログラミング			情報通信ネットワークとデータの利用		
	問題を発見・解決する方法	法・情報セキュリティ・情報モラル	情報技術と情報社会	メディアとコミュニケーション	情報デザインと役割	コミュニケーションと情報デザイン	コンピュータの仕組みと処理	アルゴリズムとプログラム	モデル化とシミュレーション	ネットワークの仕組みと構成要素	データベースの仕組みと活用	データの収取と傾向の可視化
広島市大		1		2			1	4			3	3
電通大				1				3	2			
京産大				1,2,3			1	3,4				5,6
日大(理学)		1		3			1	4	1,4	2,4	1	

◆ 数値は出題された大問の番号。河合塾「キミのミライ発見」をもとに作成。

個別学力検査「情報（情報I）」の内容

◆試験時間 90 分，300 点満点．4つの大問で構成．

第1問（配点:40）：情報Iで学ぶ基礎的な用語

◆コンピュータの仕組み，ユーザ認証／セキュリティなど．

第2問（配点:80）：「情報のデジタル化」に関する基礎知識

◆RGB画像の表現の仕組み，情報量（ビット／バイト）の考え方．

第3問（配点:90）：「データの活用」に関する基礎知識とその応用

◆ファミレスにおける料理提供時間に関する箱ひげ図，散布図の読み取りなど．

第4問（配点:90）：「プログラミング」に関する基礎知識とその応用

◆「すごろく」におけるコマの動きの処理．ノーコード（フローチャート）で．

出題方針：できる限り「模擬問題」に近い形で，高校での学びを確認するものを．

個別学力検査「情報」分析結果まとめ

得点状況

- ◆ 受験者平均256点。満点（300点）得点者も多くいた。全体的に「やさしめ」かもしれないが、受験者が「頑張った」／「情報を得意とした」ともいえる。
- ◆ 合格者の「共通テスト「情報」」の最低点は、共通テスト「情報」の平均点とほぼ同じ --- 情報に関して、十分に質の高い学生が確保できたのでは？
- ◆ 大問4問中、2問で得点差が生じる／選抜能力のある問題になった。
 - ◆ 具体的な計算はできても、一般化が難しい？
 - ◆ フローチャートの出題で（コードがなくても）思考力を確認できた。

出願者・受験者／合格者について

- ◆ 合格者のゾーン：前年と大きく変わらず、広島＆中四国が多い。
- ◆ 併願先は多様化した。情報系学部・学科の増加によるものか？

まとめ

◆ 入学後の状況について

- ◆ 後期日程入学者について、意欲的な学生が多い印象。
 - ◆ プログラミングだけでなく、他の科目についても。
 - ◆ 客観的な分析はこれから。

◆ 志願者の傾向について

- ◆ 単に「新入試制度」や「隔年現象」による変化かも。
- ◆ 継続的な分析が必要。

◆ 個別学力検査「情報」について

- ◆ 後期日程導入の狙い「情報が好き・得意な人」はひとまず成功。
- ◆ より選抜能力が高く、今後も情報教育を応援できる問題を提供したい。